

「FFG経営者クラブ福岡地区交流会」を開催しました

FFG経営者クラブでは、2010年7月12日に「FFG経営者クラブ福岡地区交流会」を開催致しました。交流会では、会員相互の交流や情報交換を目的として基調講演や懇親会等が行われ、九州・山口一円から258社326名の会員の方々にご参加頂き盛況に行われましたので、この模様をご紹介します。

本会では、まず始めに「ふくおかフィナンシャルグループからのメッセージ」と題し、当グループの第三次中期経営計画「ABCプラン」やお客様とのリレーション強化に向けた取り組み状況等を説明させて頂きました。



「ABCプラン」の説明風景

基調講演は、「ワールドビジネスサテライト」等テレビでもご活躍中の株式会社日本総合研究所副理事長 高橋進氏に「日本経済の展望と企業経営」をテーマにご講演頂きました。

高橋氏は、日本経済の現状として「景気は回復基調にあるものの、デフレの長期化、設備過剰、雇用・賃金の減少傾向等の不安要因も内包しており楽観視は出来ない」と指摘されました。

また、九州の今後については、「九州には様々な潜在力が眠っており、アジアに近いという優位性を生かして、アジアの中での存在感を高め、九州をアジアで最も先



講演風景

進的な地域にする発想を持つことが必要」とアジアに目を向けたオール九州としての取り組みの必要性を提言されました。

参ります。今後ともFFG経営者クラブの各種サービスを是非ご活用ください。

(稲葉 修一)

基調講演終了後には、懇親会が行われ、ふくおかフィナンシャルグループの役員をはじめ、各営業店長も参加致しました。懇親会では、営業店長が会員相互のご紹介等を行うことで、地域や業界を越えた交流や情報交換が図られ、ご参加者からは「大変有意義であった」とご好評を頂きました。

今後も、ふくおかフィナンシャルグループの主要営業基盤である福岡・熊本・長崎の各地にて交流会を開催する予定です。

引き続き、FFG経営者クラブでは会員の皆様のお役に立つ、質の高いサービスのご提供に努めて



株式会社日本総合研究所 副理事長 高橋 進 氏



懇親会風景

夢の実現や将来の不安を解消する為に 生命保険を活用しませんか？

- お金に関することで、私たちは皆様から様々なご相談をお受けしています。代表的な例をご紹介します。
- 以下のようなお金に関する悩みや目的をお持ちであれば、生命保険のご活用をおすすめいたします。



ご 相 談 内 容



今すぐには使わないお金、
計画的にふやせないかなあ…

5年後に子供が進学するんだけど、
なにかいい方法で準備できないかなあ…

10年後にはリフォームも考えないとね…

将来的に介護施設に入ろうかと思ってるけど
準備する方法はない？



そ
な
え
る

数年後の
夢の実現や出費に
備えたい



ゆとりをもった生活を送るには、
公的年金だけでは不安だなあ…

生活費のために
定期預金を取り崩すのは抵抗があるなあ…

毎年旅行に行くのが楽しみなんだけど、
計画的にお金を準備できないかなあ…



将来にわたって
定期的にお金を
受け取り続けたい



大切な家族へ
お金を遺すいい方法はないかなあ…

この預金に宛名をつけて遺せないかなあ…

え!? 相続の時に預金はすぐ引き出せないの？



の
こ
す

大切な方へ
お金を遺したい



将来にそなえて長期的に積立したいなあ…

子供ができたので、将来の教育資金を計画的に
準備したいなあ…

保険に加入したら
税金の控除を受けられるって聞いたんだけど… ※

老後のために、早くからゆとりある計画をたてて
準備したいなあ…



た
め
る

将来のために
お金をコツコツ
積み立てたい

※ 税法上の要件がありますので詳しくは窓口にお問い合わせください。また、個別の税務取り扱い等については、専門の税理士にご確認ください。
☆ 上記分類はあくまでも例示であり、各商品の全ての特徴を表したものではありません。

一時払個人年金保険・一時払終身保険・生命保険(平準払)に関する留意点

生命保険に関する留意点(共通)

■ ご検討にあたっては、「商品パンフレット」「契約締結前交付書面(契約概要・注意喚起情報)」「ご契約のしおり」「約款」等を必ずお読みください。「商品パンフレット」「契約締結前交付書面(契約概要・注意喚起情報)」「ご契約のしおり」「約款」等は福岡銀行・熊本ファミリー銀行・親和銀行(以下各銀行)本支店等にご用意しています。■ 各銀行は保険の募集代理店です。保険の引受は行っておりません。■ 各銀行が取り扱う生命保険は預金ではなく、元本保証はありません。また、預金保険の対象ではありません。■ 引受保険会社が破綻した場合には、生命保険契約者保護機構の保護措置の対象になりますが、ご契約の際にお約束した年金額・給付金額・解約返戻金額等が削減されることがあります。■ 商品によっては、国内外の株式や債券等へ投資しているため、投資対象の価格の変動、外国為替相場の変動等により、投資した資産の価値が投資元本を割り込むことがあります。死亡給付金額や年金原資額、解約返戻金額等が払込保険料を下回るリスクは、ご契約者さまが負うことになります。■ 外貨建ての場合、外国為替相場の変動により、死亡給付金額や年金原資額、解約返戻金額等を円換算した金額が、払込保険料を円換算した金額を下回るリスクがあります。■ ご契約中の生命保険を解約したり、一部解約した場合の払戻金は元本または払込保険料累計額を下回る場合があります。■ 保険にご契約いただくか否かが、各銀行におけるお客さまの他のお取引に影響を及ぼすことは一切ありません。■ 各銀行では借り入れられた資金(他の金融機関での借入金を含みます)を保険料とする生命保険のお申し込みはお断りしています。■ 生命保険は法令等の定めにより、各銀行にてお取り扱いできるお客さまの範囲に制限があります。■ 保険のお申し込みの際には必ず、保険販売資格をもつ募集人にご相談ください。

<一時払個人年金保険に関する留意点>

■ 一時払個人年金保険は、ご契約時の契約初期費用のほか、ご契約後も毎年、保険関係費用・運用関係費用・年金管理費用等がかかる場合があります。また、据置期間中に解約された場合、解約控除や市場価格調整費用などかかる場合があります。ただし、費用等は商品ごとに費用の種類や料率等が異なるため、記載することができません。詳しくは、「契約締結前交付書面(契約概要・注意喚起情報)」等をご覧ください。

お客さまの実現したい目的に応じて
4タイプの生命保険をご準備しております。



運用重視タイプ

ご契約時に満期を定めて運用を行います。
満期時には、一括でのお受け取りか年金でのお受け取りをご選択いただくことができます。

定額個人年金保険

定額個人年金保険
(外貨建)

変額個人年金保険

年金受取重視タイプ

一生涯にわたって、年金を受け取り続けることができます。
商品によっては、ご契約後すぐに年金の受け取りが開始いたします。

定額個人年金保険
(終身年金タイプ)

変額個人年金保険
(終身年金タイプ)

保障重視タイプ

満期を定めずに一生涯の保障をご継続できるため、大切なご家族へ保険金を遺すことができます。

一時払終身保険

(※)

平準払終身保険

(※)

積立タイプ

毎月(毎年)決まった金額を計画的に積み立てることができます。

平準払定額
個人年金保険

平準払終身保険

(※)

学資保険

(※)

(※) 該当商品については取扱い店舗が限られますので、ご注意ください。

一時払終身保険に関する留意点

■ 一時払終身保険は、ご契約時の契約初期費用のほか、ご契約後も毎年、保険関係費用・運用関係費用等がかかる場合があります。また、一定期間内に解約された場合、解約控除や市場価格調整費用などかかる場合があります。ただし、費用等は商品ごとに費用の種類や料率等が異なるため、記載することができません。詳しくは、「契約締結前交付書面(契約概要・注意喚起情報)」等をご覧ください。■ 一時払終身保険のご購入にあたって、円貨を外貨に転換される際は、為替手数料が上記の各種手数料とは別にかかります。

生命保険(平準払)に関する留意点

■ 給付金等のお支払いについて、告知していただいた健康状態などが事実と違っていた場合などは給付金等をお支払いできない場合があります。詳しくは「契約概要・注意喚起情報」ご契約のしおり・約款」をご確認ください。■ 保険料のお払い込みがないまま猶予期間が過ぎた場合、解約返戻金の範囲内で保険会社が自動的に保険料のお立替を行う「自動振替貸付」という制度があります。この場合、自動振替貸付について保険会社所定の利率で利息が発生いたします。また、自動振替貸付の元利金が解約返戻金額を超過した場合は、保険会社所定の金額をお払い込みいただく必要があります。お払い込みがない場合は契約は効力を失います。詳しくは「契約概要・注意喚起情報」ご契約のしおり・約款」をご確認ください。

■ 生命保険(平準払)は告知していただいた健康状態などにより、ご契約いただけない場合があります。

取扱店舗については、各銀行本・支店の窓口へお問い合わせください。

商品によってご負担いただく手数料の項目、呼称・手数料率、計算方法(合計額を算出する方法も含む)等は異なりますので、一律の算出方法を記載することができません。

詳しくは、各商品の商品パンフレット、契約締結前交付書面(契約概要・注意喚起情報)ご契約のしおり・約款等をご覧ください。

詳しい商品内容については、各銀行の窓口でお尋ねください。

株式会社 福岡銀行 株式会社 熊本ファミリー銀行 株式会社 親和銀行

チャリティーイベント「がんばろう!! 宮崎 物産フェア」

宮崎県内において甚大な被害をもたらした口蹄疫問題は、2010年7月27日に宮崎県が「非常事態宣言」を解除し、復興への新たなステージを迎えています。そのような中、7月28日、29日の2日間、チャリティーイベント「がんばろう!! 宮崎 物産フェア」が福岡銀行本店広場にて開催されました。ふくおかフィナンシャルグループ（以下、FFG）および福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行の3行は本イベントの後援を致しましたので、この模様についてご紹介致します。

本イベントは、宮崎県による協力のもと売上げの一部を義援金として寄付する宮崎県物産即売会（以下、物産即売会）やプラスバンド演奏によるコンサート等が行われ、2日間で7千名を超える方々にご来場頂きました。

物産即売会では、宮崎和牛や鶏の炭火焼のほか、人気商品となっている肉巻きおにぎりなど、宮崎のこだわりの逸品が集められました。各出展ブースとも多くの来場者で賑わい、商品が完売するブースもあるなど盛況となりました。

このイベントを盛り上げる催しとして、九州産業大学附属九州産業高等学校と福岡第一高等学校の学生の皆さんによるプラスバンド演奏や、JOY倶楽部プラザのアート製作グループ「アトリエブ

ラヴォ」によるライブペインティングが行われました。

さらに、ボランティア福愛グループ 日向ひょっとこ踊り愛好会の方々に、宮崎で有名な豊作や商売繁盛を祈願する踊り「日向ひょっとこ踊り」をご披露して頂き、会場内は大変盛り上りました。

開催期間中は、FFGグループ3行の行員も、運営のお手伝いなどでボランティアとして参加しましたが、ご来場者の多くの方々から、本イベントの趣旨に共感され口蹄疫被害からの復興の願いを込めた激励のお言葉を多数頂戴致しました。

また、当日のご来場者からの募金と物産即売会出展企業9社からの売上げの一部を合わせて、24万7,553円が宮崎県・宮崎県共同募金会「宮崎県口蹄疫被害義援金」に寄付されています。

FFGでは、本イベントに対する取り組みのほかに、宮崎県の口蹄疫被害復興の一助となるよう、



高校生の皆さんによるプラスバンド演奏

グループ3行及び関連グループ企業役職員による募金と当社による寄付金を加え、総額10百万円を義援金として寄付致しました。

今後も引き続き、地元九州への貢献のために積極的な取り組みを行うとともに、グループのブランドスローガンである「あなたのいちばんに。」の実現に向けて邁進致します。

（池田 晋介）



運営スタッフの集合風景



出展ブース風景